



うさぎぐみだより



社会福祉法人尚徳福社会 生麦保育園

2020年3月号 発行

桜の便りもそろそろ、横浜は毎月15日頃が開花予定だそうです。保育園の桜はまだ蕾が固いようですが、うさぎ組さんがきりん組に進級する頃には咲いていると良いですね。

～小さな春を見つけています～

最近では寒かったり、暑かったり、コートを脱いで遊ぶことも多くなってきました。「今日はコートを着なくてもいい？」と聞かれることもあります。北風が強くない限り、「自分で寒くなければね。」と答えるようにしています。クラスのヒヤシンスは最後の紫も花が咲き始め、初めに咲いた花は枯れ始めました。「花が変だよ」と言っていた子どもたち。「枯れてきたね。」という「ふ～ん」とじっとながめていました。散歩に出かけると色々な花が咲き誇っています。水仙、さくら草、菜の花、少しずつですが、花の名称も覚えめました。園庭では樹木に芽吹きが見られます。そろそろ小さな昆虫たちも顔を出してくる頃です。

～大好きな制作～

ひな人形を製作しました。お内裏様、お雛様それぞれに顔を描きました。烏帽子や冠をつけると、とてもかわいい顔が出来上がりました。身体は少し難しいかと思いましたが、頑張って丸く仕上げました。お家に飾っていただくと嬉しいです。そして、これから卒園するお兄さんやお姉さんたちにプレゼントを作る予定です。喜んでもらえる物が出来上がるよう援助していきます。



～お願い～

・排便時のお尻の拭き方や、箸の持ち方等、日常生活習慣を、これからも引き続き援助していきたいと思っております。ご家庭でも見直して頂けるとありがたいです。

・子どもたちは、幼児のクラスに移りこの1年間で、様々な経験を積み重ねてきました。きっとご家庭でも「えっ。こんなことができるの。」と感心されたことがあったのではないのでしょうか？毎日元気に登園し、楽しく遊ぶ中で培ってきた成果だと思います。これが自信へとつながっていけば良いと考えています。保護者の皆様には、沢山のご理解やご協力を頂きありがとうございました。あとわずかな時間ですが、楽しく、充実した日々を送り進級を迎えられるようにしたいと思います。

1年間ありがとうございました。